（様式６－１）

実績概要（ホームページ掲載用）

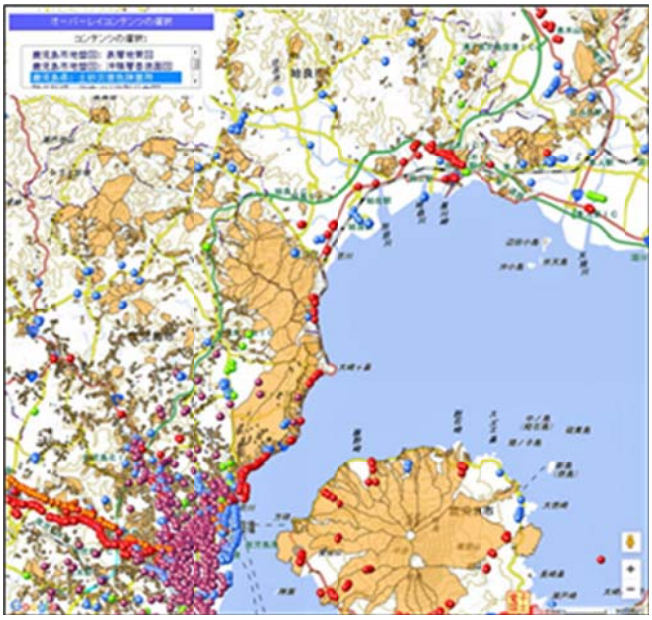
研究又は活動のテーマ	地盤情報データベースの構築とその活用とその検討
助成事業者	鹿児島大学　学術研究院　理工学域　工学系
代表者	酒匂　一成

（目的）

本研究は，電子納品開始以前の紙ベースの地盤情報データ（鹿児島大学酒匂研究室保有）の電子化作業，及び，（公財）鹿児島県建設技術センターがまとめている地盤情報に付加価値を付け，県内で行われる各種土木施工，災害対策に役立つシステムの構築することを目的としている。

（概要）

申請者らは，これまでに鹿児島県内のボーリング等のデータの収集に取り組んできた。しかし，電子納品開始以前のデータは紙ベースとなっており，本研究において，紙ベースのデータの電子化作業を行い，地盤情報データベース用データの作成を行った。また，電子化したデータについて，その内容を確認し，誤りのある記述や不統一な記述の修正・統一作業および，地質学的な知見をもとにデータの品質を高める作業を行った。さらに，（公財）鹿児島県建設技術センターより，ボーリングデータおよびそれに付随する土質試験データを提供いただき，地盤情報データベース用データとして，入力した。地盤情報データベースについては，本研究では，上述の収集データを元に，鹿児島県の任意の地域の三次元地盤図を表示・活用できる様にするための課題等の整理およびソフトの試作を行った。今回の試作ソフトは，ボーリング柱状図と地質断面図の三次元表示，そして，地図上に土砂災害危険区域図とボーリングデータ位置を表示することが可能になっている。（図参照）さらに現有のボーリングデータから地盤図の作成が可能な対象地域を選定するため，鹿児島の地質について調査・検討を行った。また，数値解析に必要な土質パラメータを土質データから求めることについても併せて検討し，地盤情報データベースの有効な活用法の確立を試みた。



図．地盤情報データベースの一例
（土砂災害警戒情報とボーリングデータ位置図）